

広島県栽培漁業センター

〒729-2313 竹原市高崎町字西大乘新開185番地の12
TEL(0846) 24-1631 FAX(0846) 24-1869

ホームページアドレス

<http://www.hiroshima-pffa.or.jp/>

- 開設 1982年3月27日
- 総工費 約37億円

見学した日	年	月	日
-------	---	---	---

ガザミを育てる水槽



ワムシは赤ちゃん魚のミルクです。
大きさは約0.4mm
毎日100億個のワムシが赤ちゃん魚に必要です。



シオミズツボワムシ



藻類培養槽

ワムシを増やすためにナンノクロロプシスという植物プランクトンを作っています。
大きさは、0.002mmで緑色をしています。



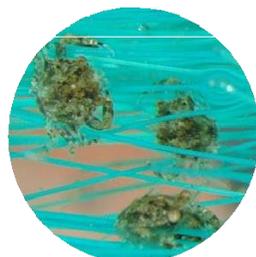
海水ろ過装置

海水は一度ろ過をして使います。
1日最大 12,000トンの海水を使います。



ヨシエビ

体長約12mmのヨシエビ



ガザミ

体長約5mmに育ったガザミ
人工で作った藻につかませて放流します。



魚の大きさを測っています。
魚の飼育で大切なことは、毎日稚魚を観察することです。

カキ生産棟



カキの親



海水の殺菌装置

ろ過した海水は、さらに殺菌して使います。
光で殺菌する特殊な装置です。
これで稚魚は病気にかかりにくくなります。

カキ附着施設



カキの幼生をホタテ貝の殻(から)に附着させる水槽です。
附着したカキは、筏(いかだ)につり下げて大きくなるまで育てます。

カキ幼生の飼育施設



附着したカキの幼生は、筏(いかだ)で14日~20日間飼育します。
約3mmに成長したら出荷します。

メバル・カサゴ・マダイ・オニオコゼ・キジハタ・アユの飼育水槽



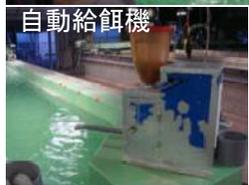
オニオコゼの稚魚



カキの幼生



カキの幼生
卵からカキが岩に付き始める前まで育てます。
大きさ約0.3mm



ワムシのほかに配合飼料という粉のエサを食べさせます。



水槽の底にたまったエサの残りや死んだ魚を掃除して、ほかの魚に病気が移らないようにします。

栽培漁業センターで育る魚の種類

(2021年度生産計画尾数)

	キジハタ	マガキ	マダイ	ガザミ	ヨシエビ	アユ	メバル	オニオコゼ	カサゴ
									
育てる数	11.1万尾	140万枚 3万個	128万尾	5mm 135万尾 1cm 159万尾	81万尾 5万尾	170万尾	33.4万尾	22.2万尾	15.8万尾
大きさ	6cm	殻高3mm 一粒10mm	1.2cm	5mm 1cm	1.2cm 2.5cm	5cm	2.5cm	3cm	2.5cm
育てる時期	7月～10月	3月～11月	4月～6月	5月～7月	6月～8月	9月～1月	1月～4月	5月～9月	1月～4月
中間育成	しない	しない	する	5mmサイズ する 1cmサイズしない	する	する	する	しない	しない
放流サイズ	5cm	養殖用	5cm	1cm (直接放流)	2.5cm	8cm	5cm	3cm	2.5cm

中間育成とは、栽培漁業センターで育てた稚魚を別の場所で放流できる大きさまでに育てることです。

県内の中間育成場

